

各位 様

青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字松代町字白沢264

TEL 0173-73-2231

FAX 0173-73-2325

つがる農場(機器事業部) 代表 葛西喜代栄

平素は、お引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

種子播き器(マキーナ2)の取り扱い説明書

1、目的

- (1) 手動式による立ち姿勢で、種子の植え付けが出来て、腰を曲げて作業する辛さからの開放と、作業の効率化を図る。
- (2) 従来の機器では、両手で機器を操作しながら、種子の植え付けを行っていましたが、片手で機器を操作しながら別の片手で、種子の投入が出来て、右利き、左利きでも作業の効率化を図れる。
- (3) マルチナイロンのカット作業と、種子の植え付け、覆土等、連動して出来る事と、露地作業も同様の作業ができる。
- (4) 植え付けの開閉板部分には、ステンレス鋼を使用する事により腐食や、ナイロンのカットで余分な土が着きにくい。
- (5) 種子入れホッパーから種子誘導パイプ～植え付け開閉板へ種子を直接落とす為、種子を容易に植え付けが図れ、種子深さ調整板の調整ネジで、好みの種子深さ、覆土が調整できる。

2、機能

- (1) 植付け種子の範囲は、おおむねコーン・花豆～大豆・小豆等々、多くに適用します。
- (2) ナイロンのカットを、しながらの作業や露地作業でも容易に種子の植付けができる。
- (3) 立ち姿勢での作業なので、腰痛など、身体への負担が少ない。右利き、左利きでもできる。
- (4) 植え付け開閉板の反対側の、植え付け深さ調整版ネジにより種子の深さ(浅い・深い)調整ができる。
- (5) 中、小規模、家庭菜園でも、手軽に扱える。

3、特徴(取り扱い要綱)

- (1) 持ち運びが簡単なので、作業準備として種子誘導パイプに備え付けの種子深さ調整板を、その種子に合わせた深さに調整する。(覆土が種子の約3倍が目安)、畝の上から(ナイロン)をカットしながら上部グリップを、深さ調整板まで押し下げて上部ホッパーから種子を入れる。
- (2) 種子が誘導パイプから、植え付け開閉板に落ちたら、上部グリップのレバーを握りながら、器具を上を引き上げると開閉板が開いて種子を植え付け、覆土もできて植え付けが完了して次の穴へ動作を繰り返します。
- (3) 植え付け時に種子が多く開閉板に入った場合は、播種器をそのまま引き上げてから、植え付けレバーを握り、下から種子を取り出してホッパーから入れ直します。
- (4) 作業終了時には、特に植え付け開閉板部はよく水洗いをし、乾いてから植え付け開閉板の接合部等に、適量のオイル等を塗布して保管します。
- (5) 今後、様式の一部変更があり得ます。

※保管時や、作業時には先端部が鋭利なので子供等には、危険ですので触らせないようにしてください。

価格 20,000円(税込み)

